

札幌都心アクセス道路検討会（第2回） 議事概要

1. 日 時 平成 29 年 8 月 10 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分

2. 場 所 T K P ガーデンシティ札幌駅前 2 F ホール 2 C

3. 出席者

- 札幌市 中田都市計画担当局長
- 北海道 渡邊建設部長
- 北海道開発局 原建設部長

4. 議 事

（1）各機関における創成川通の検討内容について

【 主な発言 】

- ・平成 42 年度末の北海道新幹線札幌延伸により更なる観光客の増加が期待され、その効果を全道に波及させるためにも道内各地へアクセスするための創成川通の機能強化が必要である。合わせて札幌北インターチェンジ及び札幌駅とのアクセス性に配慮が重要。
- ・札幌都心部については、交通量が多く連続的に混雑が発生し、更に事故危険区間が複数存在する。札幌駅への円滑なアクセスを確保するため課題解決が重要。
- ・都心側は、札幌市のまちづくりの重要な拠点であることから、都心部の親水空間との連続性や東西市街地の連携の強化等の地域のまちづくりの方針と整合を図り、創成川通の整備及びまちづくりの実施が重要。
- ・創成川通沿線には市街地が形成されているため、創成川通の整備にあたっては、現況敷地を最大限活用するとともに立体的な道路構造などで現況の主要交差道路の通行機能の確保に配慮が必要。
- ・創成川通の北 34 条交差点は、都心部と高速道路とのアクセス性に係る重要な交差点である。また、創成川通と北部方面を結ぶ交通が多いことによる渋滞及び事故の課題が多いことから北 34 条交差点の課題解決が重要。
- ・高速道路との接続については、特に札幌北 IC のオフランプ部の混雑が広域交通の課題となっていることから、高速道路から円滑に創成川通を利用できる構造が必要。
- ・まちづくり面の市民合意に向けて、具体的な手法を検討し、更なる認識共有を深める取組みを実施。
- ・北海道及び札幌市からの地域の配慮事項を踏まえ、構造等の概略的な検討を進める。

以上